



2023
新入社員合同入社式
『地域の中小企業で働く誇りを胸に
自ら考え未来を描く』



同友会の三つの目的

1. 同友会は、ひらく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強固な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を蓄積し、これからの経営者に継承される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくる。よい経営者になる。よい経営環境をつくる。

岩手県中小企業家同友会 | <http://www.iwate.doyu.jp/> |

2023 年

新入社員合同入社式

新たな門出を祝って

地域の中小企業で働く誇りを胸に、

自ら考え未来を描く

4月3日(月)新入社員合同入社式が24社32名の新入社員、30名の経営者、幹部社員の合計62名の参加でホテルメトロポリタンニューウィングにて開催されました。ご来賓として岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室長の三河孝志氏、盛岡市長 谷藤裕明氏にご臨席いただき厳かに行われました。

自分の頭で考え

行動する力を

あいさつに立った田村満代



田村 満代 氏

表理事(株)高田自動車学校取締役会長)は「全国で会社といわれる組織の数は約400万社弱と言われています。その中で大企業は1万2千社しかありません。大半は中小企業です。その中小企業に晴れて入社された皆さんは、しっかり覚悟をもってこれから仕事をしていかなければなりません。企業はその皆さんの力が必要ですので大いに期待をしています。その時に2つお願いしたいことがあります。まずその1つは「笑顔」です。2つ目は「自分の頭で考えること」。

指示されたことをそのままこなすのではなく、一旦、自分の頭で考えて行動すること。頭の隅に入れ、これからの社会人として人生を送ってください。」と挨拶されました。

地域と深いかわりをもつ 中小企業の担い手として

次に岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室 三河室長より「本日晴れて入社される皆さんに心よりお祝い申し上げます。岩手県中小企業家同友会の会員企業の皆さんは、社長も社員も共に育び共に育つ「共育」という考えで自主的に学ぶ意欲溢れる企業づくりを心掛け、自ら考え行動する企業づくりを目指していると伺っております。地域と深い関わりをもつ中小企業の発



二宮 厚美 氏

展は若者や女性が住みたい、働きたい、帰りたいと思える岩手を創造していく大きな役割を果たすものであり皆様方には1日も早く企業を支える人材になられる事を期待しております。」と挨拶されました。

日々の経験の 積み重ねと、 地まめ挑戦を

また、盛岡市長の谷藤裕明氏より

「本日入社される新入社員の皆様が大きな1歩を踏み出されることを心からお祝いを申し上げます。これから皆さんは、日々の経験の積み重ねと、地まめ挑戦は仕事の自信と自らの喜びとなり、より豊かで充実した生活へ繋がっていくだけではなく企業発展や地域振興に大きな力となります。一日も早く仕事に慣れ、職業人として社会人として大きく成長されるようご期待いたします。

ます。そして困難にぶつかった時は上司や先輩に相談し、素直な気持ちで耳を傾け諸先輩たちの経験や英知を一つでも多く身に付けていただきたいとします。」と挨拶されました。その後記念講演として神戸大学名誉教授 二宮厚美氏より「生きがいのある人生を創造しよう」のテーマで講演をいただき、それぞれ期待と希望を胸に新しいスタートをきった入社式となりました。



先輩社員 激励メッセージ

自分の成長に目を向けて欲しい

入社当時の私は、社会人として働くことに対して、漠然とした不安を抱えていました。業務に取り組む前から、失敗や迷惑をかけてしまうのではないかと考えてしまい、自分の言動に全く自信が持てず、思うように声が出ないことや動けないことばかりでした。

そういう状況の中、上司や



信幸プロテック(株) 池野 友子 氏

先輩は入社したての年下の人達にどこまで話しかけていいのか分からないこともあると思います。こちらから積極的に気になることを聞くことで、たくさんさんの知識を増やすことにも繋がります。初めはわからないことばかりで、頑張ったつもりでもミスして注意されてしまうと、自分の言動に自信が持てず、自分のやったことは全部間違っていたのかなど不安になってしまいうこともあるかもしれません。最初は出来ないことがあっても当たり前だと思えます。間違えてしまったことは次に繋げて、いつかできるような気持ちで挑戦して欲しいです。

小さなことでも、前回より上手くできたこと、得意なこと、頼られたことなどが増えると、日々の業務の自信に繋がります。



がります。人と比べるより、自分の中でどのくらい成長できたかに目を向けてあげられたいと思います。

私自身、まだまだ出来ないことや覚えきれないことばかりですが、今まで沢山先輩方に助けていただいていた分、これからは「自分が頼りにな

新入社員 誓いの言葉

「本日は私たち新入社員のために、このような入社式を開催していただきありがとうございます。また、このような不安定な社会状況の中、私たちを迎え入れて下さった各企業の方々に続きましても重ねて御礼申し上げます。今日から社会



(株)仙北造園 吉田 将騎 さん

人となり、岩手県中小企業家同友会の会員企業の一員として新たな生活を始めることを大変ありがたく、またうれしく思っております。働くことを通して生まれ育った岩手県に貢献できるように、また先輩方が築いてこられた各企業の名に恥じぬように、日々精進していく所存でございます。まだまだ未熟で頼りない点があるかと思いますが、若さを活かし何事も全力で取り組み、変化の多い時代にも対応できるような柔軟性を持って、少しでも早く社会の役に立てるよう力を尽くして仕事に取り組んでまいります。」と力強く決意を語っていただきました。

る」と思ってもらえる存在になれるよう、「周りをよく見る」とことと「何事も丁寧に」を意識して頑張りたいと思っ

ていますので、一緒に焦らず頑張っていきたいと思います。と新入社員にエールを送っていただきました。

2023

新入社員研修会

自分は「何のために生きるのか」を常に考えた2日間

4月4日、5日の両日、アトホテル盛岡で2023新入社員研修会が開催されました。24社、34名の新入社員と、のべ26名の経営者、幹部社員が実行委員として関わり、総勢60名での研修会開催となりました。以下二日間にわたって行われた内容の特集をご紹介します。

「まずは行動するんじや」

初めに挨拶に立った下村社員共育委員長は、「社会人として自分の人生をどう歩くか、自分と向き合いきつかけ、向き合い方を見つけてほしい。そのためにどんどん行動してほしい。時間はあつとい



「個人」から「協働」へ

まだ前日の入社式からの緊張感が続く新入社員。まずリラックスして研修に向き合える雰囲気作りをしようと、二人組になった相手を紹介する



う間に過ぎてしまいます。年齢を重ねると経験で物事を考えてしまう。一番大事なのは目的と手段、これを分けて考えることです。常に何のために学ぶのか、何のためにそれをやるのか、いつもいつも考えてほしい。人生のゴールを何のためにめざすのか。自分で考えるしかありません。今日明日の2日間、だからこそ自ら行動し、自分の考えを伝え合い、とことん互いに関わり合い、考え深めてほしい。そこから必ず何かが見つかるはずですよ」とのメッセージが贈られ、研修が始まりました。

インタビューゲームからスタートしました。苦戦しながらも、次第に笑顔が出てきます。その後1日目の午前中から午後はじめにかけては、カラーブロックを使った意思伝達ワークシヨップを行いました。34名の新入社員を7つのグループに分け、初めて会ったこのメンバーで、別室にあるカラーブロックで作成したモデルと同じものを制限時間

内に設計図を描き、複製するというものです。今回は経営者チームも別途つくり、同条件で新入社員と競い合いました。

どうすればもっとうまくいったのか

70分の制限時間の中で役割を分担し、それぞれが見た情報をグループで収集しまとめあげていきます。しかし、なかなか設計図を作り上げるのができません。時間内で完成できたチームはありませんでしたが、延長を申告し、最後まで完成できたチームが8チーム中3チームありました。やりきった達成感のあったチームと、もはややした気持ちが残ったチーム。それぞれ、「どうすればもう少しうまく行ったか」「自身がどんな行動をとればよかったか」など、振り返りをじっくりと行いました。

対面だからこそできる学び合い

岩手同友会ではコロナ禍の前までは、1泊2日で研修会を開催してきましたが、一昨



昨年、一昨年は完全オンラインでの開催となりました。そして時代の要請もあり昨年は通いでの二日間の研修開催となっています。

対面での開催では、こうしたグループで他社の社員と一緒に関わり合いながら学び合うことが可能です。その後のマナー研修でも、人間としてのマナーの講習に始まり、挨拶の基本、電話の応対、名刺の交換など、すぐに活用できる社会人としてのマナーの基本を身につけることができました。挨拶の練習では最初は声の小さかった社員も、皆で揃っ

て声を出すうちに次第に表情にもゆとりが生まれ、張りのある声で向き合う姿が見え始めました。また電話の応対では、実際に受話器を持ってみると保留ボタンの押し方がわからず戸惑ったり、慣れない敬語に四苦八苦しながらも、段々慣れてスムーズに話せるようになったりと、表情からは実践を重ねることで自信が生まれることも実感している様子でした。

考え方の軸を明確にする

2日目は、「人生設計書・10人ビジョン」を一日かけて実際に作成してみるワークです。まず初めに、(株)仙北造園代表取締役 佐藤康之氏から「自分の人生設計を考えることの意味」をテーマに問題提起がありました。

造園業に携わってきたご自身の体験から、設計が持つ意味や大切さを紐解いて説明いただきました。いかにに実現したい未来を描き、具体的な設計図に落とし込むかが重要であるか。そのためにコンセプト、考え方の軸(何のた



(株)ベアレン醸造所 藤村 美花 氏

めに)を明確にする、背伸びをする、Look wideの4つを大切にしたいと、提起されました。

問題提起を受け新入社員は早速A3の大きな人生設計書に向かい、記入を始めますが、これまで考えたことのない問

いつかは私もあんな人になりたい!

働いたことのない新入社員にとって、少し経験を重ねた先輩社員の体験報告は、大いに励みになります。今回は3

年前に新入社員として入社した、(株)ベアレン醸造所 藤村美花さんに、入社からこれまでのご自身の気持ちの変化や、成長を率直にお話戴きました。藤村さんが入社したのは、新型コロナウイルスの感染拡大の真只中で、新入社員の研修会もすべてオンラインでの開催でした。藤村さんは冒頭、「皆さんは、同期の入社がこんなにいるの、仲間が県内にこんなにいるのだと直接会って感じられるのは、本当に幸せだと思います」と話始めました。そして「自分がわからないことだらけ。でもそれを感じたときに、勉強を重ねていけばいい。私も今もまだまだ勉強中」とハキハキとユーモアを交えながら、励ましのエール



を戴きました。新入社員からはいくつもの時間内では応えきれないほどの質問が続き、「いつかは藤村さんのようにになりたい」との言葉も出るほど、憧れの存在に見えた、体験報告となりました。

早く会社の力になりたい、役に立ちたい

その後、自分のありたい、なりたい10年後の姿を最後まで描き、完成させ、グループの新入社員、実行委員と共有しました。プライベートでは結婚や出産、家を建てる、新車を購入するなどの具体的な夢や実現したい想いを。仕事では「こんな資格を取って、先輩から慕われる存在になりたい。そのためには早く仕事で力になれる存在になりたい」、など、自分自身が役に立てるよう頑張りたいとの思いを熱く語る姿もあり、「入社式からのたった3日間で、こんなにも成長するのだ。むしろ成長を止めているのは我々かもしれない」と、関わる実行委員のほうを考えさせ



34人34色の想像力

そして最後には「今年一年自分が大切にしたいこと」を色紙にしたため、全員の前で発表する時間をつくりました。この色紙は、今の自分の気持ちを忘れないように、一年間会社社に飾って意識して取り組むことを、目標に掲げるものです。一人ひとりが色紙に書いた言葉を発表しながら、その背景についても丁寧に説明を加えました。34人34色の個性が表された

その言葉は、私たちが想像もしなかった魅力溢れる言葉ばかりでした。フランス語で表す社員もあり、仕事も自分自身も独特の表現で表す社員もあり、新入社員の持つ豊かな想像力に驚かされた時間でもありました。

決して人と比べない

まとめでは実行委員の皆さん全員から、一言いただきました。その言葉は経営者からというよりも、2日間一緒に考え取り組み一緒に学んだ仲間への想いに溢れていました。「決して人と比べないで、それぞれの違いを認め合い、それぞれのスピードで、それぞれが成長していく姿を応援し合おう」そんな共通の言葉に聞こえました。

「半年後、フォローアップ研修会でまた元気な顔で一堂に会そう」と約束し研修会の終了隣しました。手間も暇もかかる、社員と経営者が一緒に学び合う、同友会ではできない新入社員研修会。今年も34人が社会に飛び出していきました。

私がこの一年大切にしたい事



第1グループ



第2グループ



第3グループ



第4グループ



第5グループ



第6グループ



第7グループ



2日間助言者としてかかわった経営者の皆様

青年部 移動例会in島根・広島

「人生が大きく変わった 仲間との学び」

「見て、聞いて、語りあった3日間」

3月9日(木)～3月11日(土) 青年部移動例会が行われました。青年部は設立2018年設立以来、毎年年間スケジュールに「移動例会」として他県に出向き、他県同友会企業中心に日常どんな実践しているか実地に出向き、訪問し、訪問企業の経営者の報告を聴こうと毎年取り組んでいます。

(株)石見銀山
群言堂グループ

物づくり+地域を守る

Ⅱ 地域経営

ここ2、3年はコロナの影響もあり訪問は自粛していましたが、今年度は半年前から「移動例会チーム」グループを組み、訪問先をしっかりと自主学習として、自社の課題と訪問先の取組を共有して進めてきました。

今回は島根県の(株)石見銀山群言堂グループと広島県府中市の(株)タティシ広美社、福山市の(株)オーザックを2泊3

観があり、世界遺産にも選ばれ、そこに暮らしがあるから世界に誇れる。しかし、このままでは物づくりをできなくなる危機感をもっていて、お客様に信じていただくことは物づくり+地域を守るという在り方に共感頂いているとの言葉が印象的でした。松場社長がおっしゃる通りまさに「地域経営」そのものだと感じました。

また独自性の源泉は創業者の想いを言語化することで、想いを伝えることがビジネス



になり、社会に期待される役割を全うしているというお話をお聞きして理念経営の実践だと感じました。

私は前職がアパレル業でした。実はアパレル業界に将来展望を見出すことが出来ませんでした。しかし三浦さんのように「アパレル業なのに服を売らない」そして社員が大森町や自社の事を熱く語ってくださる姿を見てもっと早く知っていれば自分の人生も少し変わっていたかもしれない

と思いました。根のある暮らしはとても素敵な暮らしだと感じました。有難うございました。

(杜陵テクノ(株)

代表取締役 川村 武司)

(株)タティシ広美社

「いこる所」に人は集まる

立石会長並びに奥様、社長様や社員様にお会いした際、非常に信頼関係が強い印象を受けました。また、立石会長の第一声で全国のKFC(ケンタッキーフライドチキン)の看板は、当社で作っているというインパクトあるご紹介から始まり、デジタルサイネージへの事業展開のお話や、普通の壁から映像が出てくる技術、クリアパーティションから向こう側にいる相手に文字が見える様な技術。外国人との会話のやりとりもパーテーションでできる技術を聞き、とても高く高い技術力があるのだと刺激を受けました。

また、私の中で心に響いた

ことが立石会長の経営者の方向性をタクシーに例えた話でした。運転手が社員としたならば、タクシーの乗客は経営者です。

どこに行くのか言われなかったら、従業員は不安になる。どこに行くのか明確だと従業員は、目的地に行ける。だからこそ、経営指針が大事なんだ！という話でした。「ただし、作っただけではなんともならん。社員と一緒に



に作り、社員一人ひとりのプライベートな夢までも共有することで経営指針書が社員のものとなる。まだまだ完璧ではないが、少しずつでも社員のものになる努力をしている。」ということでした。

当社では、ある様でなかった方向性を以前自分なりに作ったが、社員の声がまだまだ足りないと感じましたし、当然社員のものになっていないと感じました。そして、「いこる所に人は集まる。」い

こるとは、燃えるということ。まだまだ、周りを巻き込めるほどの強烈な火では無く、私はどこか冷めている様な部分が自分の中にある様な気がしていたので、今後もっともっといこっていかねければならない。と気を引き締められました。

(株)三協メディケア

専務取締役 齊藤 大輝

顧客満足の前

社員満足がある

とにかく社員を大事にされている会社ということ。岡崎会長のお話の中で特に印象に残ったのが、「顧客満足の前に社員満足がある、それは自社の社員が満足できていないのに顧客を喜ばせることはできないから」という言葉です。例として有給が取りやすくなったために、キッズルームを使う必要がなくなったというのが、まさに社員を大事にするということが表れていると思いました。



働き方改革の一環での週休2日制導入の流れでは、もともと生産性を8・7%上げなくてはならない、それができないようではまた戻すという条件付きで、社員の案を聴いて実際に実行してもらうが、しかし1回目は思うように生産性が上がらな



かったのでもとに戻した。そこで社員がもう一度意見を出し合って、結果的に生産性が目標を超え、意見を出し合う風潮もでき、結果自主的に行動するという流れを具体的に聴けたことも学びとなりました。

私の会社でも週休二日制導入を目指していますが、まずは自社の数字や、客観的基準を明確にすることからとアドバイスもいただきました。社員教育についても、トップが自ら末端までではなく、それぞれの役割を持った社員から言ってもらうことを意識する、これが中間層を育てることに繋がるといことで、今

後自社でも実践していきたいと感じました。

(株)五日市塗装工業

経営企画室長 晴山 潤二

広島同友会

青年部交流会

同じ同友会の仲間から

いただいた刺激を生かす

広島同友会福山支部青年部との交流会では意見交換しましたが皆さん熱く、そして真剣に話を聞いてくれて嬉しかったです。悩みを話すとは



業種ならではの発想力とそこに数字で持っていくところ、そして何よりスピード感を重視していました。

人間性というところで話の聞き方がとても勉強になりました。私の悩みや言いたい事を割り込まず最後まで聞いてくれて、すぐ応えるのではありません。自分はずいぶん返していたので、自分はすぐには真似できないと思います。鍛錬しようと思いました。

広島同友会の方々が集まる時に自身の決算書を持参してみんなで話し合っていると聞きました。自分はまだ恥ずかしくて見せることはできないと思いました。それでは会社のためにならないことに気づきました。

個人のプライドも大切ですが見せて改善できて少しでも会社が良くなることを考えたら必要な事だと思いました。今回交流して課題がたくさん見え、次の青年経営者全国交流会in広島に行く覚悟を決めました。『主体者であれ』とてもいい言葉だと思いました。刺激を

もらいにまた広島へ行きます。

(さくらだファーム

代表 櫻田 大河)

全体を通して

自身の役割、会社の役割を

今一度考える

今回の3社の訪問例会で、人間性、科学性、社会性について改めて考えさせていたただく機会となりました。人として、経営者として成長しつづけていけるよう社員と共に学び、そして自身の役割、会社の役割がなんであるかを考え行動し、できることを増やしていくことで、地域に、社会に必要とされる会社をめざしていくことを改めて感じ決意しました。

これからなるべく多くの方々と関わらせていただながら学び続けようと思います。また、うまく捉えきれないことは、引き続き今回の移動例会でお話したただたことを、振り返りながら自身や自社に照らし合わせて、成長できるようにしていきたい

と感じた移動例会でした。

(株)麴屋もとみや

代表取締役 本宮 啓)

会社の方向性を

明確にし、即実践

移動例会に今回参加したメンバーからもたくさん刺激を受けました。

参加した青年部のメンバーは、将来の夢や目標が明確なのか自分とは違い、私はまだまだ未熟だと感じました。今回の移動例会で経営指針書を作成したいと強く感じました。が、まだまだ社員との信頼関係を構築中ですが、受講することを決めました。会社の方性を明確に打ち出すためにも今できることを今回の学びの中で即実践します。誠にありがとうございました。

(齊藤 大輝)

後継者として何をすべきか

今回移動例会に参加して、特に社員が主体的に動いている企業を視察することができ、多くの学びを得ることができました。3社とも業種は異なりますが、それぞれ社員

が主体的に意見を出し、会社・地域を良くしていこうという気概を感じられました。

私はこれから後継者として現状の会社のフェーズの見極めと、現段階で何から手を付けていくか、考えながら実践に移していきたいと思っています。今回お伺いしたお話を肝に銘じ、自社のみならず、地域発展のために成長していきたいと思っています。(晴山 潤二)

もう一度理念と向き合う

訪問した3社は会社の理念や方針に示し実践しているのがとても分かりました。

そして社員が生き生きとし、挨拶がきちんとでき素晴らしい会社ばかりで社長、会長のエネルギーと行動力に感動し、自分自身も理念や社員との向き合い方をもう一度話し合おうと思いました。

とてもいい移動訪問になりました。また是非お話を聞きたいなと思いました。ありがとうございました。

(櫻田 大河)

岩手同友会青年部移動例会スケジュール

◆3月9日(木)

- 8:50 盛岡駅発 JR 新幹線はやぶさ10号・東京行
- 9:29 仙台駅着 9:50 仙台空港アクセス線
- 10:17 仙台空港アクセス線仙台空港着
- 11:15 仙台空港発 FDA703
- 13:10 出雲空港着 石見銀山へ移動
- 14:30 石見銀山到着 大森の町並み散策 少しでもフリータイム
- 15:30 (株)石見銀山生活観光研究所／群言堂
松場忠氏(群言堂後継者・石見銀山観光研究所社長)
(変更)
木村とも子氏が案内と講演・意見交換
- 17:30 終了
- 17:40 すぐ出発(ノンストップで2時間半)
- 20:10 広島福山到着
福山ニューキャッスルホテル(2泊)

◆3月10日(金)

- 8:30 ホテル出発
- 9:30 (株)タティシ広美社代表取締役立石克昭氏
(広島同友会代表理事/中同協副会長)
- 12:00 (株)タティシ広美社出発
昼食
- 14:00 (株)オーザック代表取締役社長西谷基次氏
- 16:30 訪問終了予定
※広島同友会福山支部青年部と交流会

◆3月11日(土)

- 11:36 福山駅発 JR 新幹線みずほ604号・新大阪行
- 12:24 新神戸駅着
- 12:42 新神戸駅発 神戸市営地下鉄西神・山手線・西神戸中央行き
- 12:44 三宮駅着
- 12:47 三宮駅発 神戸新交通ポートアイランド線・神戸空港行き
- 13:18 神戸空港着

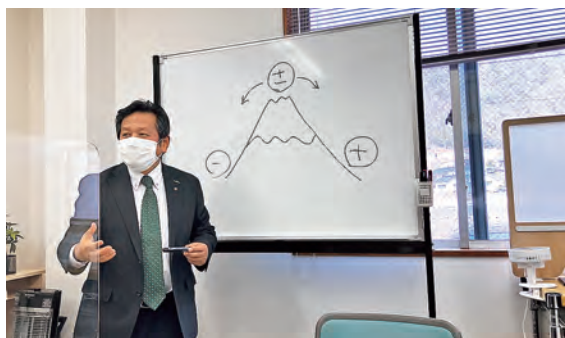


群言堂経営理念(青年部撮影)



(株)石見銀山生活
観光研究所／群言堂

1日目



(株)タティシ広美社 立石 克昭氏

(株)タティシ広美社

2日目



(株)オーザック 岡崎 隆氏

(株)オーザック

各支部・委員会・部会 「ぼつと」通信

県央支部

女性ならではの細やかな気くばりで
社員と向きあう

2月21日（火）オガール大
スタジオに於いて県央支部2
月例会が開催されました。

報告者は花巻市で自動車関
連部品を製造している㈱サト
ウ精機 代表取締役 佐藤智

栄氏より「1人対30人から始
まった経営」を諦めず進んだ
20年間の歩みというテーマ
でご報告いただきました。

サトウ精機は、佐藤氏の父
親（現会長）が1986年（昭
和61年）に創業、今年で37年
の会社で、自動車関連部品・



治工具や半導体製造装置の部
品を製造しています。

**現場に入り、必死で
仕事をし認めてもらう**

平成12年に会社員だった佐
藤氏が父親の体調不良をきつ
かけに入社、そしてすぐ会社
を継いでくれないかとお願い
されます。しかし女性経営者
が少ない業界、社内からも「社
長の娘が次ぎの後継者？」と
冷かな声も聞こえてきましたが、
もともと負けず嫌いの性格
上、営業だけでなく製造現場
の経験も積極的に積み、毎日
油まみれになって仕事をしま
した。徐々に社員からの信頼
も得ながら平成30年に代表取
締役に就任しました。

変わらなければ
選ばれない時代

そうした矢先、リーマン
ショックがありました。何と
か必死で乗り越え、そこで感
じたことは、これからの時代
何か起こるか予測不能。であ
れば「変わらなければ、選ば
れない時代」だと思いました。
そして、今わが社で働く社員
を一番に、その社員たちの人
生をしっかりと考えてる会社づ
くりをしていかなければなら
ないと思いました。福利厚生
を少しずつ整え、社員への声
のかけ方も変えながら細かな
心づかいで社員の家族もが安
心して働けるような会社づく
りを実践しました。

「社長になりたての頃は1
人対30人でした。それが1対
20になり、今は「30名と共に」
変わってきただけの事です。」
と明るく話す佐藤氏。これか
らはこの我社も業界も日本、
そして東北のものづくりを支
えるスーパーパーパートナーで
あり続け選ばれる会社をつくっ
ていきたいとご報告いただき
ました。

全県・盛岡支部共催 漁師から漁業家への道

3月8日（水）全県・盛岡
支部共催3月例会が盛岡市中
央公民館で行われました。報
告に立っていただきました、
後藤海産 代表 後藤清広氏
より「漁師から漁業家への
道」を奪い合う漁業から共存
共栄の漁業へをテーマにお
話いただきました。

宮城県南三陸町戸倉地区で
牡蠣養殖を手がける後藤さ



ん。東日本大震災前は養殖施
設数3,000台のうちマガ
キは1,100台。身入りが
悪く出荷できるサイズに成長
するまで3年を要していまし
た。また生産を増やすために
養殖イカダも過密状態にと課
題を抱えながらも行っていた
2011年3月11日、東日本
大震災が起きました。この津
波でイカダも船も全て流され
壊滅状態で自宅も失ってしま
います。これを機に後藤さん
は漁師の引退を決意し、地元
を離れ登米市へ移り住むこと
になります。ある日「戸倉
地区のカキ生産部会長をやっ
てくれないか」と突然の連絡
が入ります。家族の猛反対が
あった中、後藤さんは「復活
か廃業か」悩んだ結果、最初
で最後のチャンスと部会長を
引き受けることにしました。

「クビを覚悟のつもりで」

そこで、新しいカキの生産
計画として打ち出したのが

「今まで3年かけて生産していたものを1年サイクルに短縮。イカダの数を減らす。品質や単価は上げる。」ことでした。カキ部会は34経営体で組織されています。この計画を遂行するためには全員の合意がなければなりません。漁業権と既得権益が絡んでいることもあり、話し合いは困難を極めました。しかし後藤氏は諦めず何度も話し合いと議論を重ね「1年で結果を出さない時はクビを覚悟のつもりです。」と宣言までしました。その姿を見て徐々に変化があらわれ、最終的には合意を取り付けることができました。

10年、20年持続可能な漁業を目ざして

漁場の管理と維持をするために、以前は5〜15メートル取っていた間隔を約40メートルに拡大し、施設台数を震災前の3分の1にまで削減しました。そうすることで一つひとつに栄養が行き渡るようになり、3年かけて15gしか成長しなかったカキが種付けから4ヶ月で20gにも成長しま



した。また、漁業権の「ポイント制」も導入したことで後継者が安定した収入を得ることができるようになりました。今では生産量が震災前の2倍、生産金額も1・5倍。労働時間も短縮され後継者も増加しています。「自然の恵みで生活していたことを忘れ、いつの間にか自然に負担をかけていた。これからは、10年20年持続可能な漁業そして将来も安定的に生産できる漁業を目ざしていきたい。」と後藤氏の報告でした。

第7期同友会大学開校 今、日本に必要なのは心の豊かさ ～中小企業の時代をつくるために学ぶ～

第7期同友会大学が2月3日（金）より全7講座で開校しました。この同友会大学は2009年より開始され、その間毎年約15〜16講座の力リキュラムのもとで多くの経営者、経営幹部社員中心に普段例会では学べない経済・経営・法律・科学・教育等の内容を専門の大学教授中心に講師に迎え、学んできました。

昨年、一昨年のコロナの影響で休止していましたが、今回は第7期として開催することができました。その第1講としてテーマ「情勢を正確につかみ、新たな事業（仕事）と雇用を地域に生み出すには」というテーマで中小企業全国協議会 専任講師 松井清充氏をお迎えしてオンラインで開催しました。

何故同友会が大学を開くのか

松井氏より、初めに何故同

友会が大学を開くのか。今、

日本に必要なのは心の豊かさに対応できる「ほんとうの人」づくりです。情勢を正確に捉え、原点・原則に基づき基本から考えないと目先の現象に振り回され展望が見えなくなります。このためには系統的に学び、広い視野で科学性・社会生・人間性を持ち、違いを認め合える人間になっていくことが必要で、自分の能力を引き出します、それが企業の本当の力を引き出すことにつながります。

共通して必要な5つの認識

原因のない結果はない、未来の結果を求めて原因を今創り出そう。まとめてみると、必要な知識や技術はそれぞれ違いがありますが、共通して持つておかないといけないのが5つの認識が必要です。①まずは自社分析し、足元の企

業現状と、業界の現状を正確に把握することが必要です。

（現状認識）②経済はトレンド、消費をマインド。経済はグローバルになっても市場は常にローカルです。（情勢認識）③科学的に見る、時代は量から質へ、モノからコトへ、さらに参加型のトキ消費時代。（時代認識）④人口が経済を決める、さらに人口減少時代は、地域がよくないと企業もよくならない（地域認識）⑤さらに環境自体や変化の状態を見るだけでは解決策ではない、原因のない結果はない。（歴史認識）とお話しされました。そこから、より具体的に情勢認識と時代認識、経営指針の実践、経営戦略、今後の展望を、実際に取組み実践している全国の企業など紹介され、さらに深める講義になりました。

同友会大学は今後毎月1〜2回の開催で6月まで開催いたします。また、各単元ごとスポーツ参加、その日都合で講義に参加できなかった方でも単元ごとにアーカイブ視聴を受け付けております。

ドイツからの風



池田憲昭氏

プロフィール
1972年長崎県生まれ
岩手大学人文社会科学部(ドイツ文化専攻)卒業、フライブルク大学森林環境学ディプロマ課程(修士相当)卒業
フライブルク地域を拠点に、ドイツ環境視察セミナーのオーガナイザー、異文化マネージメントのトレーナー、企業サポーター、日独プロジェクトのコーディネーター、専門通訳、ジャーナリストとして活躍されています。2011年9月Arch Joint Vision社を設立 現代表。

違いからではなく、共通点からアプローチを！

私はここ10年くらい、日本からの欧州視察のお客さんや講演会の聴衆の方々に、「違いではなく共通点を探してみてください」とアピールしています。

昨年私が訳した『公共善エコノミー』に関して、2月15日に、オンラインにて「ABD読書会(アクティブ・ブツ

ク・ダイアローグ®)」が開催されました。

ファシリテーターは、公共善エコノミーとも共鳴する「一般社団法人・価値を大切にする金融実践者の会」JPBVの代表でもある江上広之さんでした。

12人の参加者が、約260ページの『公共善エコノミー』を分担して読み(約30分)、要点をまとめ、それぞれ2分間で順番にプレゼン・リレー

をして、最後に対話をする、という新しい読書法です。

対話の時間では、日本で公共善エコノミーを実践する際の課題・問題点や、すでに実践が進むヨーロッパ社会と日本社会の

相違点に関する意見がでました。違いを指摘し、欧州が進んでいて日本が遅れている、

という思いを強めることは、私がなん度も経験している典型的な現代日本人の反応です。でも、日本だからこそこそ

きる、という勇気づけられる下記の発言も、新田信行さんからありました。

「全般的な感じとして、私は日本に入られると思うていて、違和感ないんです。ヨーロッパが進んでいて、日本ではやりにくいとは、私は感じ

ていないです」

新田さんは2010年代に、メガバンク(みずほ銀行)の常務執行役員から、第一勧業信用組合の理事長になり、経営を立て直されました。中小企業同友会のなかでもご存じの方は多いと思います。第一勧業信用組合は、新田さんのリーダーシップのもと、

2018年に日本で最初の銀行としてGABV(価値を大切にする金融の世界連合)に承認され、加盟しました。

新田さんは、2020年に信用組合の理事長を引退され

ましたが、その後も、地域金融、ソーシャル・ファイナンス、バリュー・ベースド・ファイナンスの分野で、企業の顧問、協会の理事、大学の客員教授などとして、日本全国を飛び回って活躍されています。

「公共善エコノミー」は、資本主義と社会主義の間にある「第三の道」と称されていますが、オープンエンドのボトムアップのコンセプトで、「イズム(主義)」ではありません。過去にドイツで、GABVの中心メンバーであるGLSとも交流されている新田さんは、公共善エコノミーの上記の本質もしっかり理解されていて、参加者の方に、次のようにアピールされました。

「このようなものは、政府とか大企業がつくるものではなく、草の根で、私たち(中

小企業や市民)が積み上げていくものです」

日本でもできる、いや、日本だからこそできる、という確信を、新田さんは持たれています。その根拠は、日本に協同組織の伝統があること、戦後は、信用金庫や労働金庫などの協同組織が支えてきた側面があること、現在でも協同組織が生きていて、バリュー・ベースド・バンキングなどの活動も行われていることなどです。

新田さんは、日本の中小企業の日本的経営と公共善エコノミーの協奏のポテンシャルについても期待されています。日本語版の初版に、次の推薦文を書いていただきました。

「お金は手段であり目的ではない、とは私の信念でもあります。従来の会計手法では、本来の日本的経営の価値を認識出来ません。日本の中小企業の事業価値を顕在化し、更に磨き育てるための世界との共通言語として、公共善エコノミーに注目しています。」



新田信行氏

新商品紹介

いわての大地のめぐみを 熟成の味で

1979年、「この地に自生する山ぶどうでワインをつくらう。」との当時の町長の声で始まったくまきでのワインづくり。山深い大地で生まれた山ぶどう特有の酸味、果実味あふれる力強い味わいに、地域から愛されるワイナリーへと成長してきました。

四半世紀が経ち、隣町に新たなパートナーが生まれました。和牛の中でも1%に満たない日本固有の希少種「岩手短角和牛」でつくられた日本初の牛肉の熟成生ハム「セシーナ」。肉も塩もすべて地元素材でつくられ、噛みしめるごとに岩手の風土を感じることができま。いわての大地の味がする。

その熟成のハーモニーをぜひ。

お申し込みは岩手くまきワインのホームページで



Southern Iwate DSG サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら
http://www.si-dsg.com/mobila

節電は経費削減につながります！

オフィスの照明を見直し、経費削減を実現しませんか？
お客様のニーズに合わせたLEDソリューションをご提案します。

長寿命 消費電力カット CO2削減 発熱が少ない

現場調査から取付工事まで、すべて平金商店へお任せ下さい！
LEDに入れ替えた場合のコストシミュレーションも可能です。
ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社 平金商店 TEL:019-624-2121

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで
真の循環型社会を目指します。

浄化槽保守点検 植物 BDFの製造・販売 光合成 エネルギー 燃料

紫波環境株式会社
岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2886
http://shiwakankyo.com/

し尿・浄化槽汚泥収集運搬

**オリジナルラベル
ワインを作成します**

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

自園自産ワイン 紫波 社名ロゴ 包装、 12本以上
岩手県紫波町産ぶどう 100% 写真OK のし無料 作成料無料

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301
自園自産ワイン 紫波 (株)紫波フルーツパーク
藤巻元 〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11

人と自然にやさしい
環境を創り
地域型企業として
貢献します。

浄化槽 食品 水 電力 廃棄物
浄化槽のメンテナンス 食品の加工・包装 水の供給 電力の供給 廃棄物の処理

岩手日化サービス株式会社
〒020-0402 盛岡市黒川 22-56
TEL 019-696-5611 FAX 696-5614

めだか

有限会社いわてにつかコミュニティ企画
(事業内容) デイサービス / 生活介護 / 訪問介護 / 住宅型有料老人ホーム
児童デイサービス / 相談支援事業所 / 訪問看護 / 就労継続支援 B 型

同友会役員のテキスト <改訂版>
同友会運動の発展のために

同友会運動への理解を深める 1冊

第1章 同友会理念について
第2章 同友会の活動と運営 <資料>

- ・中小企業における労使関係の見解 (労使見解)
- ・共同求人活動に対する同友会の考え方・留意点
- ・教育力のある企業をめざそう
- ・ともに次代を切りひらく—中小企業家同友会の事務局について など

A4判64ページ。価額600円
発行・中小企業家同友会全国協議会
各同友会事務局でお求めください。

物を大切にし環境にやさしくしたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ **DokiDoki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース
代表取締役社長 **伊瀬 幸郎**
ise yukiyo

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127
携帯 090-8780-3296
E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。■同友会ホームページをご利用下さい。www.iwate-doyu.jp ■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。■本紙掲載事業への出欠返信は、同封のファックス返信用紙またはedyuをご利用下さい。

DOYU
I W A T E
同友いわて
2023
Vol.168

2023年5月1日発行
発行／岩手県中小企業家同友会
広報委員会

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-5 カガヤ肴町ビル3F
TEL 019-626-4477 FAX 019-626-1644
Mail: info@iwate-doyu.jp